

News Release

2021 年 2 月 26 日
株式会社日本政策投資銀行

ちば企業価値向上ファンドによる プレシジョン・システム・サイエンス(株)との 資本性劣後ローン契約締結について ―特定投資業務を活用した地域企業の成長支援―

株式会社日本政策投資銀行（以下「DBJ」という。）および株式会社千葉銀行（本社：千葉県千葉市、取締役頭取：佐久間英利、以下「千葉銀行」という。）が共同出資するちば企業価値向上投資事業有限責任組合（ちば企業価値向上ファンド）（以下「当ファンド（注 1）」という。）は、プレシジョン・システム・サイエンス株式会社（本社：千葉県松戸市、代表取締役：田島秀二、以下「当社」という。）に対し、千葉銀行がアレンジするシンジケート・ローン組成に合わせて、資本性劣後ローン契約を締結しました。

当ファンドは、千葉銀行と DBJ が連携し、千葉県および近隣エリアの地域創生に資する企業の成長支援を目的に 2020 年 9 月に設立されました。

当社は、1985 年に設立された遺伝子やたんぱく質等の検査・分析装置の製造・販売を手掛ける企業であり、新型コロナウイルス感染症の診断に不可欠な PCR 検査装置および PCR 検査に用いられる抽出試薬や消耗品を供給しております。当社製検査装置は全自動・小型・多様な検査項目という特徴があり、医療機関をはじめとする多くのユーザーから高い評価を受けております。

本件は、当社が今般のコロナ禍における PCR 検査の需要増加への対応および自社ブランド PCR 検査装置の販売を拡大し、また PCR 試薬販売へ参入することで、従来の自動化検査装置の供給中心から試薬・消耗品供給事業を拡大するというビジネスモデルへの変革を企図する大型設備投資に際し、資本性劣後ローンも活用することで当社の財務基盤の強化の支援を行うものです。

DBJ は、当社のこのような感染症対策に資する社会的意義のある取り組みが、千葉県およびその近隣エリアに事業基盤を有する当社の競争力強化に加え、地域経済の自立的発展に寄与するものと評価し、当ファンドを通じ、「特定投資業務（注 2）」を活用したサポートを行うことといたしました。

DBJ は、企業理念「金融力で未来をデザインします～金融フロンティアの弛まぬ開拓を通じて、お客様及び社会の課題を解決し、日本と世界の持続的発展を実現します～」に基づき、今後とも「特定投資業務」を通じた成長資金に係

News Release

る市場の発展や地域経済の活性化、競争力強化に向けたお客様の取り組みを積極的に支援してまいります。

(注 1)

〔当ファンドの概要〕

名称	ちば企業価値向上投資事業有限責任組合
組成日	2020 年 9 月 23 日
ファンド総額	30 億 20 万円
ファン存続期間	10 年（最大 2 年間延長可能）
無限責任組合員（GP）	ちばぎんキャピタル株式会社 DBJ 地域投資株式会社
有限責任組合員（LP）	株式会社千葉銀行 株式会社日本政策投資銀行

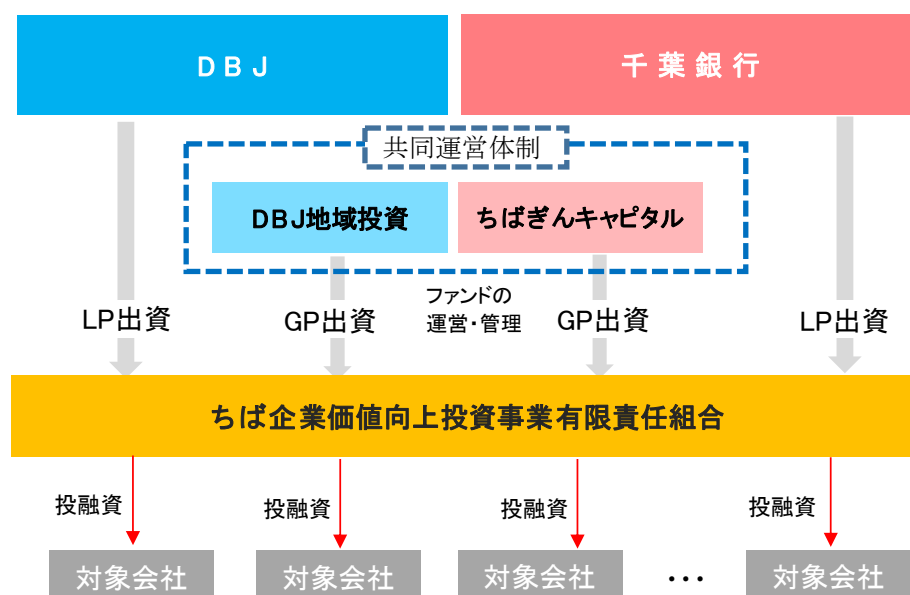
（GP）はGeneral Partner、（LP）はLimited Partnerの略称です。

〔運営会社の概要〕

名称	ちばぎんキャピタル株式会社
所在地	千葉県千葉市
株主	株式会社千葉銀行 等

名称	DBJ 地域投資株式会社
所在地	東京都千代田区
株主	株式会社日本政策投資銀行

〔当ファンドのスキーム図〕



（注 2）民間による成長資金の供給の促進並びに地域経済の活性化および我が国企業の競争力の強化を図るため、国からの一部出資（産投出資）を活用して、成長資金を時限的・集中的に供給する業務です。



News Release

【お問い合わせ先】

地域投資部 電話番号 03-3244-1351